山形県・由良温泉

由良温泉 八乙女

海一望、二つの源泉楽しむ

屋上の和風露天風呂

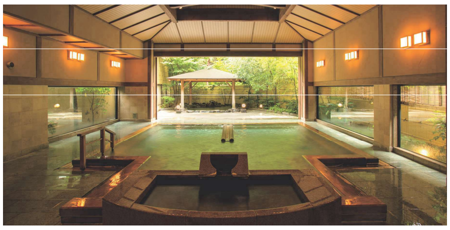
「東北の江ノ島」とも呼ばれる山形県鶴岡市の由良海岸。「全国渚百選」にも選ばれた景勝地で、海に沈む夕陽は特に美しい。この地に出羽三山の開祖、蜂子皇子が上陸した際、8人の乙女が出迎えたという伝説も残されている。

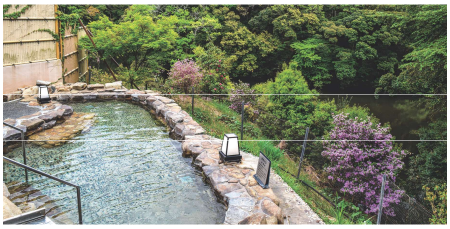
由良温泉八乙女（石川博一社長）は由良海岸の景観と温泉、海の幸が自慢の宿だ。温泉は古くからこの地に湧く「香頭源泉」と独自に掘削した「八乙女源泉」の二つの源泉から良質な湯が沸く。

大浴場からは由良海岸と日本海の絶景が見渡せる。西館の大浴場は、男女それぞれに展望露天風呂、内湯を備える。東館には、男女それぞれにサウナ付きの大浴場。さらに西館屋上には洋風、和風の露天風呂があり、男女入れ替え制で利用できる。貸し切りの露天風呂も2カ所備えている。

59の客室は全室から日本海を眺望できる。料理は、近くの由良漁港に水揚げされた旬の魚介を堪能できる。

▽山形県鶴岡市由良3の16の31。☎0235（73）3811。http://www.yaotome.in.net/

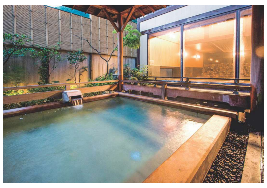




山形県・あつみ温泉

たちばなや

創業369年、歴史ある温泉宿


女性大浴場の露天風呂

山形県あつみ温泉のたちばなや（佐藤佐次右衛門社長）は、創業369年という古い歴史のある温泉宿。代々「佐次右衛門」の名跡を受け継ぎ、地域の温泉文化を守り続けてきた。情緒あふれる日本庭園、庄内の食材にこだわった会席料理、そして温泉と、多彩な楽しみ方がある。

館内には大浴場、露天風呂、貸し切り展望露天風呂がそれぞれ二つずつ。

東館1階の大浴場「湯の里」は男性用、女性用ともに天井が高く、開放的な造り。浴槽には絶えず新鮮な湯が注がれ、湯あみを楽しむ人々の体を包み込んでくれる。

露天風呂は男性用が石造り、女性用がひのき造り。いずれも野趣にあふれ、里山の心地良い風に心が癒やされる。春には川岸に立つ桜の花びらが舞い込むというから風流だ。

貸し切り展望露天風呂は6階にある山側の「月の湯」と川側の「星の湯」。湯船に飲み物を浮かべ、満天の夜空を眺めながらプライベートな時間をゆっくり味わいたい。

▽山形県鶴岡市湯温海丁3。☎0235（43）2211。http://www.tachibanaya.jp/

宮城県・秋保温泉

ホテルきよ水

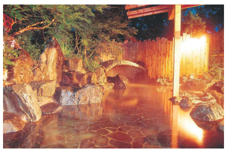
名取川の清流を望む

別館せせらぎ「婦人大浴殿」

奥州三名湯の一つ、宮城県・秋保温泉にあるホテルきよ水（山口哲也社長）。豊かな山の自然に囲まれ、近くに他の宿泊施設もないため、一軒宿のような静けさ。宿泊客に「心から休めたと思える時間」を過ごしてもらうために、「料理人の心」「おもてなしの心」「遊びの心」という三つの心を大切にしている。

熟練の料理人が、厳選した東北の山海の幸を使い、こだわりの品を一つ一つ心を込めて調理する。夕食は会席膳、朝食は和食膳を提供。食べておいしく、健康にも配慮した献立だ。バイキングとは一味違う旬の味覚を堪能できる。

フロント係、接客係をはじめとする全ての従業員は、おもてなしの心をもって対応する。やっと帰りついたわが家のような温かさで接するよう日々努めている。


別館にある洞窟風の
露天風呂「せせらぎ」

遊びの心は、宿泊客に館内でゆっくりとくつろいでもらうための仕掛け。その一つは客室で、レギュラータイプの和室は全て13畳以上と広い。もう一つが、同館が誇る浴場施設だ。

本館にある大浴殿（内風呂）と露天風呂からは名取川の清流が望める。温泉の各種効果と併せ、心身ともにリラックスできる。

離れの客室「山水庵」「楽々」「清風」には内風呂、露天風呂を設置。名取川がより近くに見え、絶景を独り占めできる。

別館の内風呂、露天風呂は森側にあり、新緑、紅葉も楽しめる。内風呂は男女それぞれで趣が異なり、男性用は岩風呂、女性用はヒノキをメインとした造り。一方、露天風呂は男女ともに洞窟風の風呂となっている。

さらに、三つの貸し切り風呂（家族風呂）も設けている。宿泊客は無料で利用でき、時間や回数の制限もなく、ゆっくり入浴できる。

▽宮城県仙台市太白区秋保町湯元字平倉1番地。☎022（397）2555。https://www.kiyo-mizu.jp/miryoku/

福島県・土湯温泉

風望天流 太子の湯 山水荘

滝を眺める展望大浴場

展望大浴場「瀧の湯」

福島県土湯温泉の「山水荘」（渡辺和裕社長）は、勇壮な二段の滝を眺める「太子の湯」や展望大浴場、5カ所の貸し切り風呂と、温泉三昧を楽しめる宿だ。

展望大浴場「瀧の湯」からは荒川と、それを取り巻く雄大な景色を大パノラマで眺める。もう一つの展望大浴場「淵の湯」は旅館では珍しい2階建ての造りで、浅湯、深湯などさまざまな湯巡りを楽しめる。

当地ゆかりの聖徳太子の名を冠した露天風呂、太子の湯は山水荘の象徴的な存在だ。荒川の二段の滝が圧倒的な水量で流れ落ちる様子を間近に眺める。開放感に浸れる源泉掛け流しの露天風呂を堪能したい。今では珍しい男女混浴制をとっているが、女性専用の時間（午後7～11時）も設けている。

カップルや家族連れにお薦めなのが貸し切り風呂だ。半露天の「石の湯」「樽（たる）の湯」、内湯の「かわせみ」「おしどり」、そして露天の「星天の湯」があり、60分で1100円（税込み）と手頃な料金で利用できる。

▽福島県福島市土湯温泉町字油畑55。☎024（595）2141。http://www.sansuiso.jp/

栃木県・鬼怒川温泉

あさや

展望抜群の空中庭園露天風呂

空中庭園露天風呂

栃木県・鬼怒川温泉で最も古い歴史を持つ老舗旅館、あさや（八木澤哲男社長）。自家源泉「子宝の湯」を所有するほか、鬼怒川で最も高い位置から絶景が楽しめる空中庭園露天風呂など、豊富な湯、多彩な風呂で湯浴みが楽しめる。

湯はアルカリ性単純温泉で肌触りが良い。さまざまな風呂が、吹き抜けロビーが華やかな「秀峰館」、和の情緒が漂う「八番館」に設置されている。

宿自慢の空中庭園露天風呂は秀峰館の13階に。鬼怒川ライン下りで使用する舟の浴槽での入浴や、山々を眺めながら入浴できる立ち湯、空を見上げる寝湯など、9種の湯船が楽しめる。

秀峰館に男性用大浴場「麻の湯」、女性用大浴場「紅葉の湯」、貸し切り風呂「打ち出の小槌の湯」がある。八番館には「滝の湯」があり、男女それぞれの大浴場に露天風呂、座湯がある。女性客にはナノミストサウナやシルキー風呂がおすすめ。

客室数は192室。スタンダードな和室や洋室、露天風呂付き客室など、好みで選べる多様な客室を用意する。

個室料亭での会席料理

食事は種類が豊富なブッフェがオススメ。夕食は和洋中約100種、朝食は和洋約60種の料理を提供する。オープンキッチンでは目の前で焼きたてのステーキや天ぷらなどを調理する。このほか、焼きたての石窯ピッツァ、美と健康にこだわったベジタブルコーナー、豊富なデザートコーナーなど女性にも好評だ。プランにより個室料亭、ダイニングでの会席料理も選べる。

八番館個室料亭での会席料理では栃木のブランド牛「とちぎ和牛」をはじめとした地場産食材や旬の食材を堪能できる。料理はもちろん、器にもこだわり、目でも楽しめる。

▽栃木県日光市鬼怒川温泉滝813。☎0288（77）1111。http://www.asaya-hotel.co.jp/

福島県・岳温泉

陽日の郷あづま館

源泉掛け流しの酸性泉

開放的な露天風呂

福島県あだたら高原、岳温泉の「陽日の郷（ゆいのさと）あづま館」（藤井宏二社長）は、安達太良山火口近くからこんこんと湧き出る源泉を引き、掛け流しで利用している。湯は全国でも珍しいpH2・48の酸性泉。広々とした大浴場、開放的な露天風呂で味わうことができる。

源泉は標高1450㍍地点にある自然湧出の16カ所のうちの一つ。それを8㌔という長大な1本の管で引湯している。強い酸性泉は長い管の中でもまれてマイルドになり、入浴後のさらっとした肌触りは他の温泉では体感できない爽快感があるという。

大浴場「俳句の湯」は、昭和の俳人、宇田零雨が詠んだ俳句の句碑やレリーフがある。源泉掛け流しの湯に浸かりながら一句詠むのもまた一興だ。

露天風呂は総ひのき造りと一枚岩をくり抜いた浴槽の「月見風呂」「花見風呂」がある。あだたらの澄み切った空を眺めながら癒やしのひと時を楽しめる。

▽福島県二本松市岳温泉1の5。☎0243（24）2211。http://www.azumakan.com/

群馬県・水上温泉

源泉湯の宿 松乃井

サービス向上へ客室改装

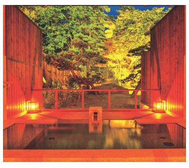
蛍あかりの湯

群馬県水上温泉の「源泉湯の宿 松乃井」（戸澤千秋社長）は今春、半露天風呂付き和洋室（和室＋ツインベッド）の貴賓室をリニューアルした。また今年8月には瑞雲楼（ダブル＋ワイドシングルベッド＋琉球畳和洋室）の山側客室などをリニューアルし、合計で客室55室を改装した。これまで添乗員部屋などで一般には販売していなかった部屋もツインベッドルームにリニューアルして客室数が7室増え、総客室数は232室（和室80室、洋室53室、和洋室95室、露天風呂付き2室、貴賓室2室）となった。

客室のリニューアルに伴い、館内に25カ所の喫煙コーナーを新設し、既存の2カ所と合わせて全館で27カ所の喫煙コーナーを設置した。客室は全室禁煙とし、宴会場も喫煙不可とした。

敷地面積4万坪の中にある日本庭園「華松園」のリニューアルも着々と進行しており、プールを塗り直し、庭園の森の中に大人向けのブランコやウインドチャイムを設置し、敷地内で採れる蜂蜜もブランド化を目指す。

松乃井が所有する大清水水源の湧き水にも再注目し、館内のラウンジで提供する水出しコーヒーやクラフトビールの製造などにもこの湧き水を使用したい考えだ。


カンテラの湯

温泉は自社で所有する四つの源泉を使用。源泉をできる限り外気に触れさせないよう、湯殿の底から直接湧き上がらせる〝湧湯〟にして、鮮度を保持している。蛍を模した照明演出の「蛍あかりの湯」、広々とした「月あかりの湯」、たいまつのような明かりが揺らめく「火あかりの湯」で楽しめる。

料理は生産地と生産者を厳選した「選地鮮食」をテーマに、豊富なメニューがそろう。客室改装に合わせ、バイキング会場も松乃井独自のスタイルを打ち出す方向で改装を進めている。

戸澤社長は「ホテル全体の環境整備を進めると同時に、お客さまの満足度が上がるようサービス向上に努めたい」と話している。

▽群馬県利根郡みなかみ町湯原551。☎0278（72）3200。https://www.matsunoi.com/